

製品名: LAL マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80537**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	LAL
別名	LAL; CESD; LIPA
遺伝子 ID	3988.0
SwissProt ID	P38571
免疫原	大腸菌で発現した LAL の精製された組み換え断片。

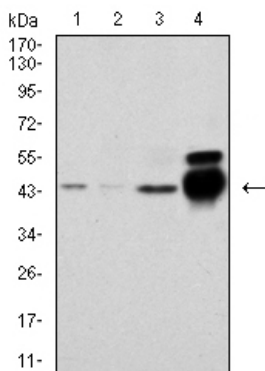
背景

リソソーム酸性リパーゼ (LAL) は、378 アミノ酸 (43~54 kDa) のタンパク質で、リソソーム内でコレステロールエステルとトリグリセリドの加水分解を触媒し、受容体を介したエンドサイトーシスによって取り込まれます。ヒトのリソソーム酸性リパーゼの遺

伝的欠損または活性低下は、それぞれの脂質基質がリソソーム内に蓄積する原因となります。そのため、ウォルマン病やコレステロールエステル蓄積症（CESD）といった稀な疾患の原因にもなります。この酵素はすべての核細胞で合成されるため、脂質を多く含む細胞はすべての臓器に存在し、特に肝臓、脾臓、副腎、造血系、そして腸管、リンパ節、肺、精巣、卵巣に多く見られます。

研究分野

画像データ



A431 (1)、A549 (2)、PC-3 (3)、および COS7 (4) 細胞溶解物に対する LAL マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。